

はじめに…ロジカルシンキングとは

I ロジカル思考

- 1 MECE（ミシーまたはミッシー）
- 2 ロジカルシンキングの思考方法
 - （1）ゼロベース思考
 - （2）フレームワーク思考
 - （3）オプション思考
- 3 思考を助けるロジカル図表
 - （1）ロジックツリー
 - （2）マトリックス
 - （3）プロセスチャート

II ロジカルプレゼンテーション

- 1 思考と表現の相似と相違
- 2 ロジカルストーリー
 - （1）演繹法
 - （2）帰納法
 - （3）弁証法
- 3 ロジカル図表と文章化

III プチ実践ロジカルシンキング

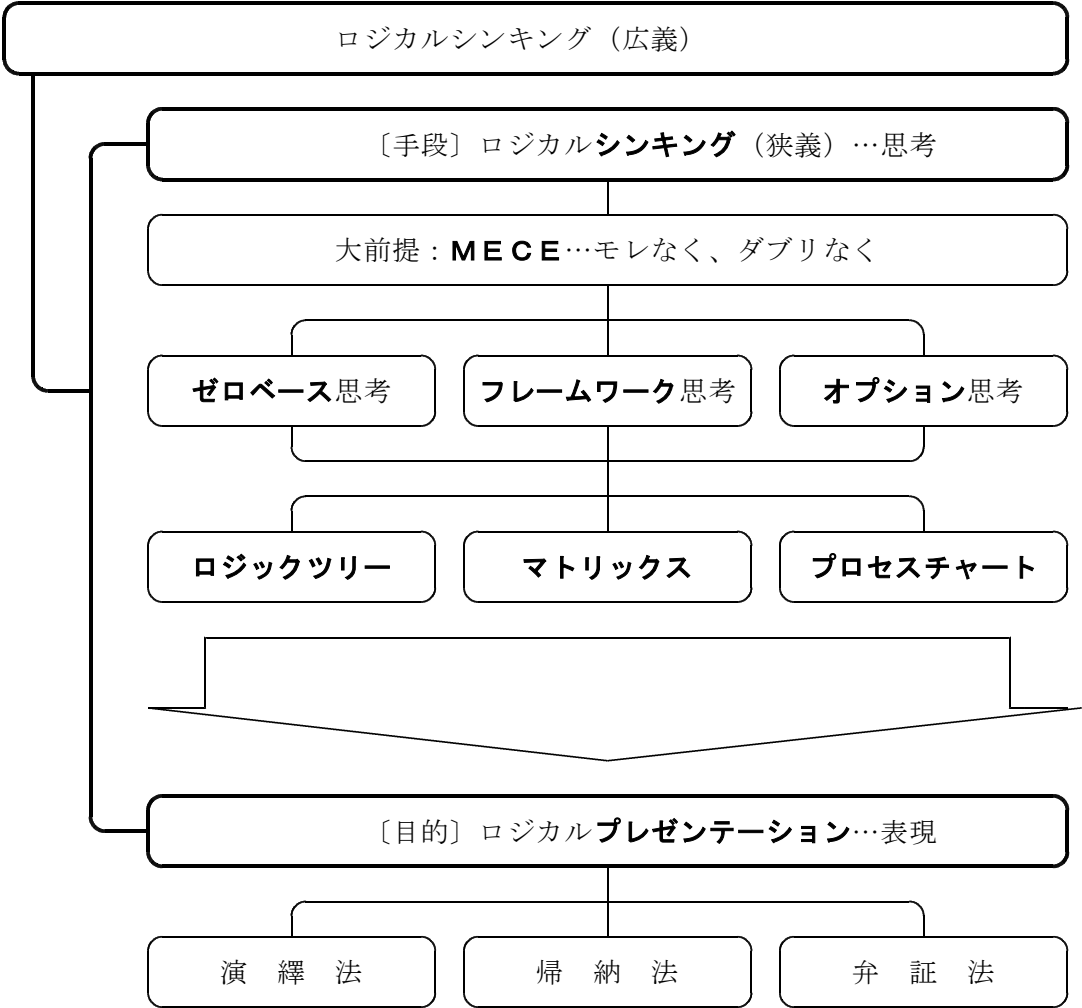
- 1 切り口による整理と切り口からの発想
- 2 MECEなフレームワーク
 - （1）ビジネス諸分野の代表的なフレームワーク（例）
 - （2）上位概念フレームワーク（例）
 - （3）オリジナルフレームワークの創出（例）
- 3 ロジカル思考演習
 - （1）切り口による整理演習
 - （2）切り口からの発想演習

まとめ

はじめに…ロジカルシンキングとは

＜ロジカルシンキングとは＞
様々な事項を、適切に整理し、発表するための技術

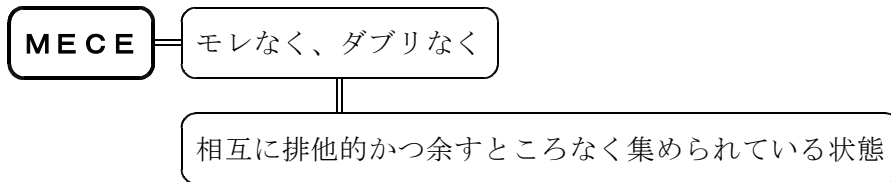
●ロジカルシンキングの構成



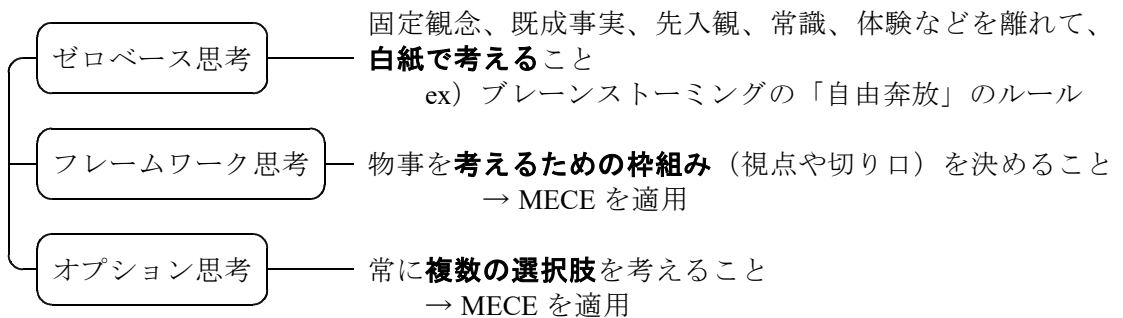
参考資料：小・中学校における評価の観点の構成
「関心・意欲・態度」
「思考・判断・表現」 ←広義のロジカルシンキングが適用できる
「技能」 ←リテラシー能力のことを言っている
「知識・理解」
出典：国立教育政策研究所「評価規準作成のための参考資料」

I ロジカル思考

1 MECE (ミシーまたはミッシー) (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)

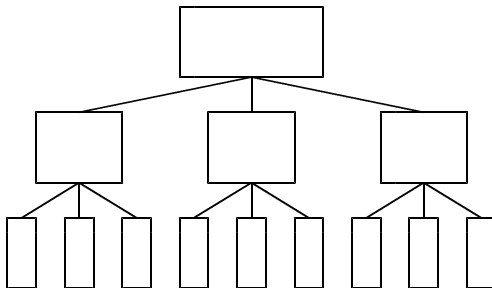


2 ロジカルシンキングの思考方法

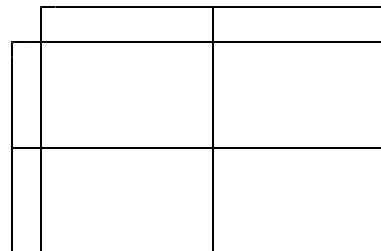


3 思考を助けるロジカル図表

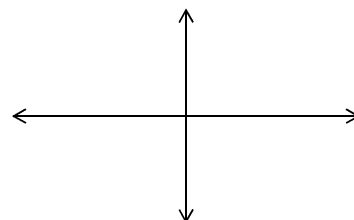
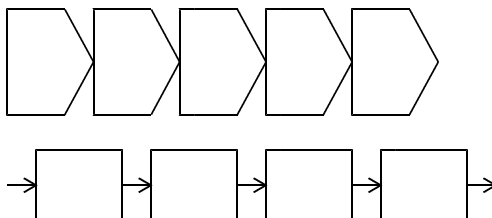
(1) ロジックツリー



(2) マトリックス



(3) プロセスチャート

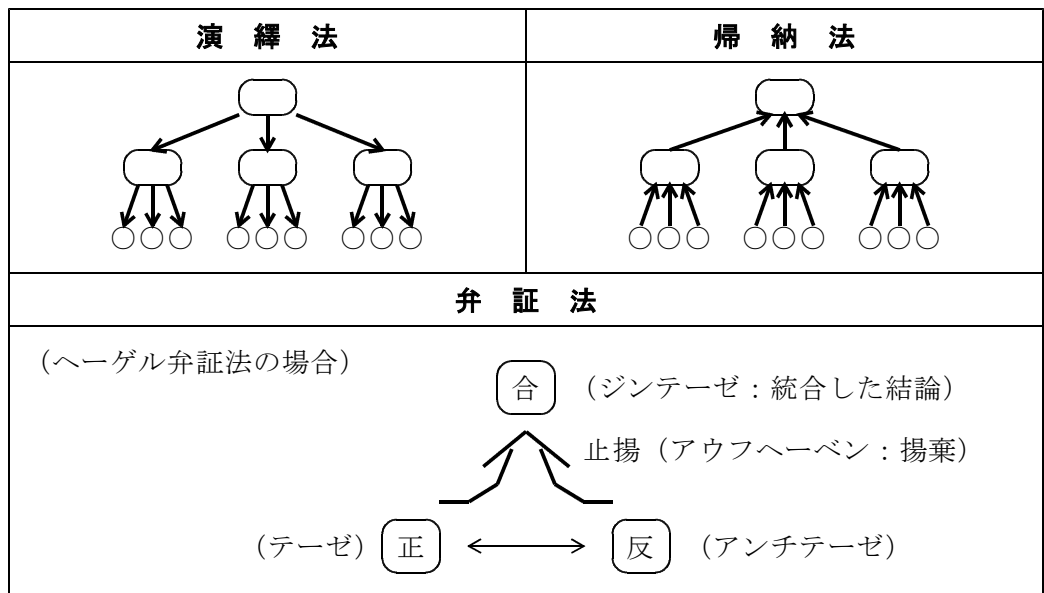


Ⅱ ロジカルプレゼンテーション

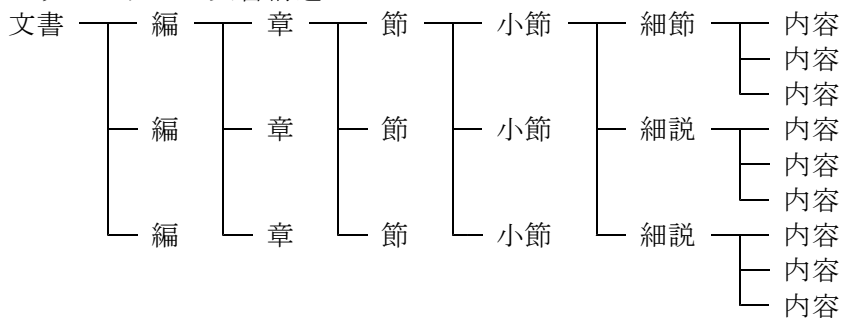
1 思考と表現の相似と相違

	形式知の取り扱い	暗黙知の取り扱い	時間的な取り扱い
思 考 自己の脳内での 情報処理	言語や図表 などを 道具として使う	直感や概念、 ひらめきなどを 直接的に取り扱う	全体像と詳細を 一度に捉えることも できる
表 現 他人の脳内への 情報伝達		概念などが 相手の中から 沸き上がるように しむける	1つひとつ 順序を立てて 伝えていく

2 ロジカルストーリー



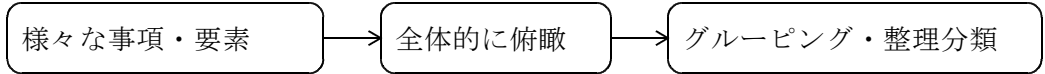
3 ロジックツリーと文書構造



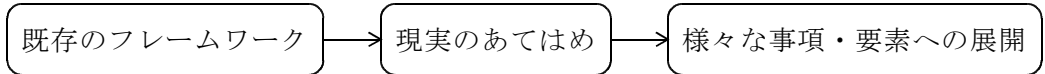
Ⅲ プチ実践ロジカルシンキング

1 切り口による整理と切り口からの発想

(1) 帰納的にフレームワークを発見する。

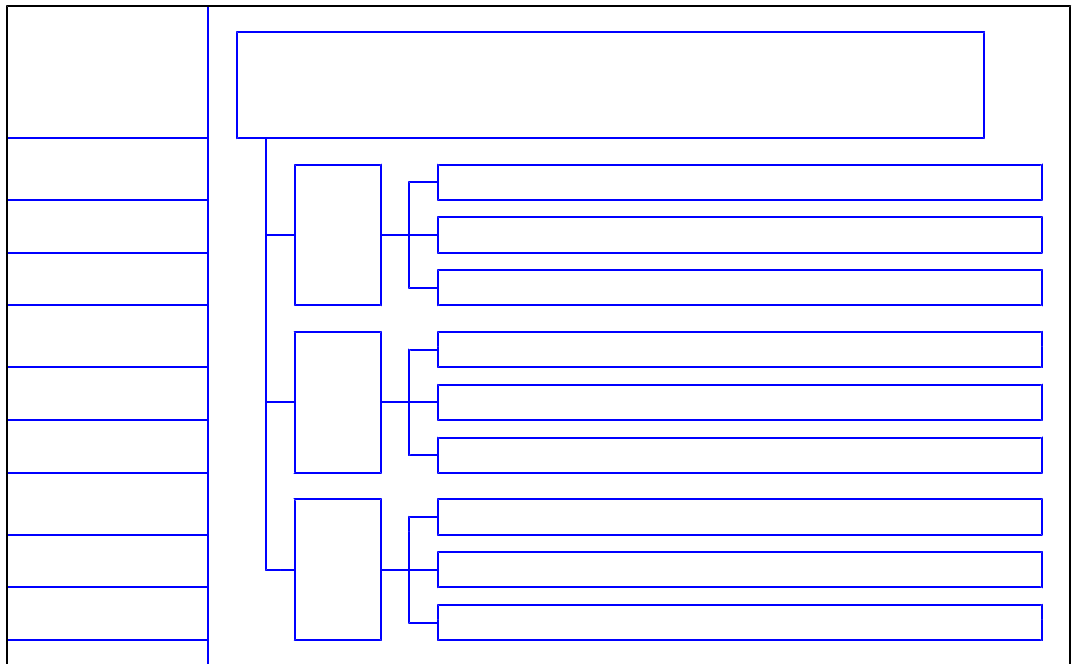


(2) 演繹的にフレームワークから発想する。

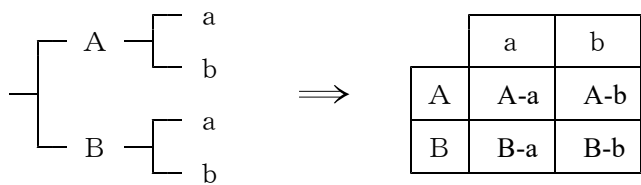


(3) フレームワークづくりのツール

● 「下村式切り口カード」の紹介

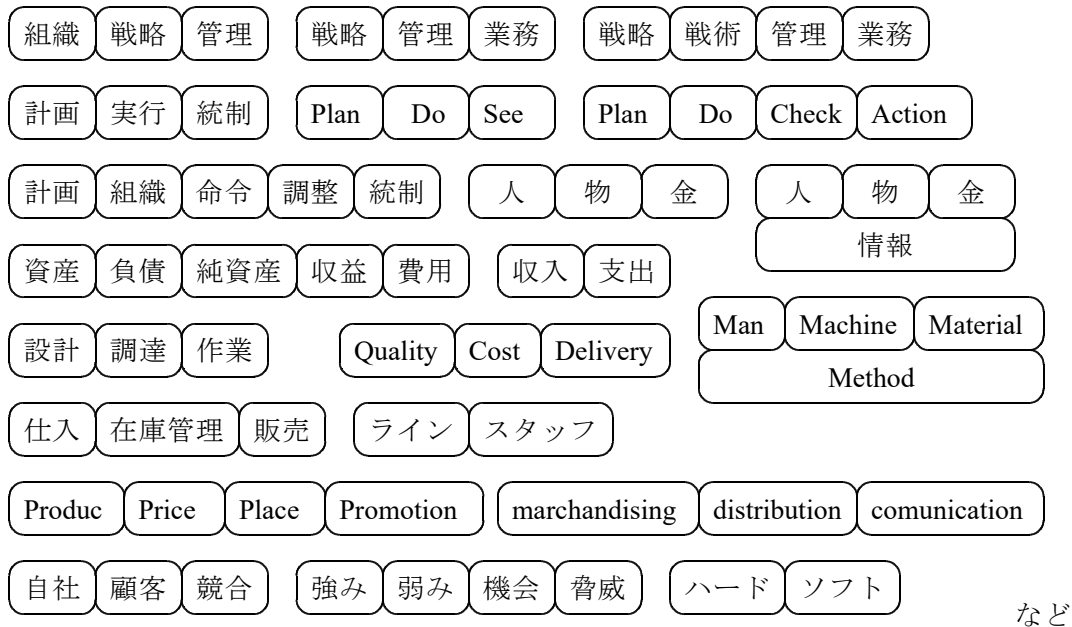


● ロジックツリーからマトリックスへの返還



2 MECEなフレームワーク

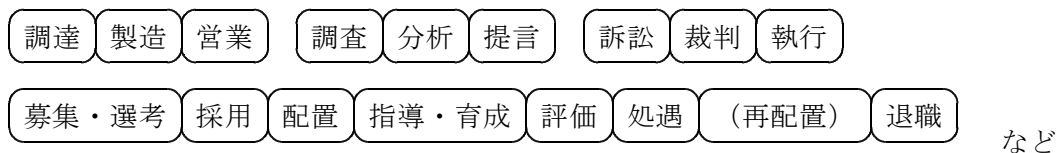
(1) ビジネス諸分野の代表的なフレームワーク (例)



(2) 上位概念フレームワーク (例)



(3) オリジナルフレームワークの創出

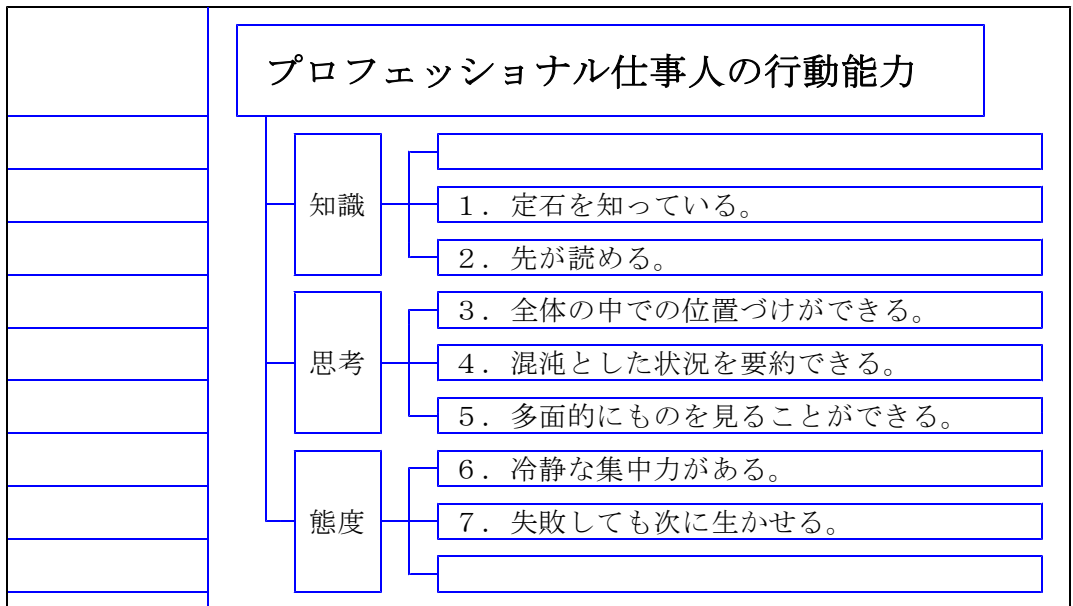


3 ロジカル思考演習

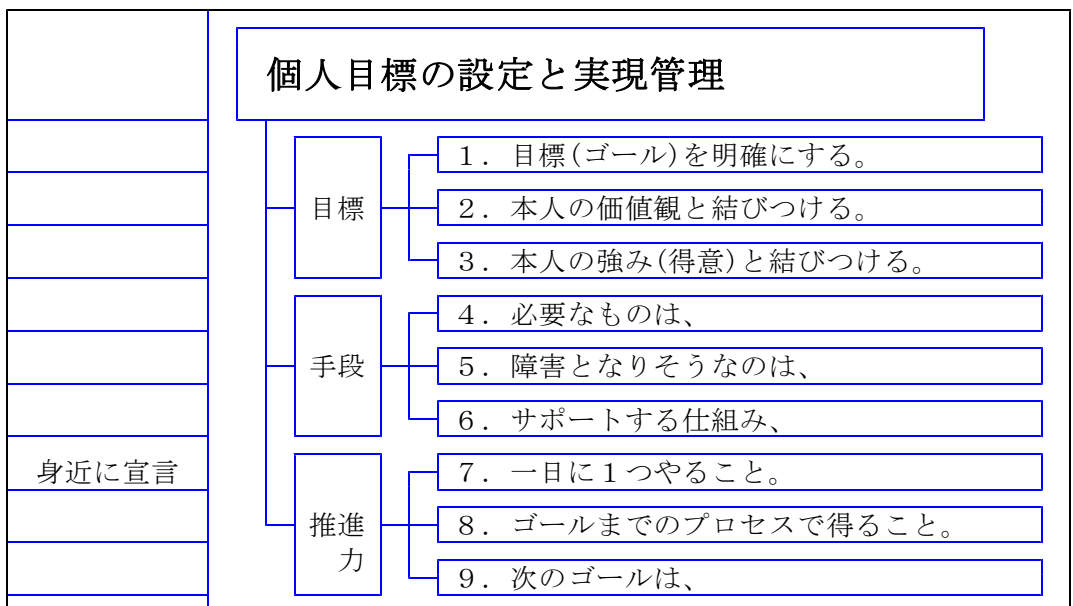
<切り口による整理演習>

<切り口からの発想演習>

< 例 1 >



< 例 2 >



仕事のできるプロになる

1 定石を知っている。

定石とは、各状況パターンごとの最善策であり、身につけておれば、時間も掛けずに問題解決が図れる。だから、本当に考えるべきことへの時間が十分とれ、パターンにない状況でも余裕を持って行動できる。ことあるごとに、腕組みして考えるのは、まだまだ素人。

2 先が読める。

超能力が必要なわけではない。事前に情報を収集し検討するから、結果が予測できるのである。

3 全体の中での位置づけができる。

物事の全体像を思い浮かべることができ、今やっていることが、その中でどういう位置にあるのかわかる。これができないと全体の最適化や全体の目的達成ができない。

4 混沌とした状況を要約できる。

「いろいろあって難しいんだ」と逃げるのはド素人。プロは「いろいろあるが、要はこれとこれ」とまとめていく。

5 多面的にもものを見ることができる。

一面だけで1次元的に物事を見るからよく見えない。せめて2次元で見ていくのがプロへの第1歩。

6 冷静な集中力がある。

一つのことをやりだすとそれに集中でき、しかも常に全体像を見ていること。集中できても他のことが見えないのは素人。他のことに気をとられて集中できないのは論外。

7 失敗しても次に生かせる。

失敗を恐れながら、いつも同じ失敗をするのが素人。原因を分析して、教訓を得るのがプロ。

の 計画

＜ゴール（目標）を明確にしよう＞

＜あなたの大事なことに結びつける＞

＜あなたの強みに結びつける＞

＜身近な人に宣言しよう＞

（誰に） （いつ）

1

2

3

4

＜必要なものは＞

＜1日に1つ必ず行うこと＞

＜障害となりそうなのは＞

＜ゴールまでのプロセスで得るもの＞

＜サポートするしくみ（協力体制）＞

＜次のゴールは何だろう＞

まとめ